

REDCap 入力要領 - redcap02-

(基本操作編)

Research Electronic Data Capture



国立循環器病研究センター 臨床研究推進センター

データサイエンス部 データマネジメント室

作成日：2021/9/16

改訂日：2022/1/21

目次

1	はじめに	3
1.1	REDCap とは.....	3
1.2	環境設定	3
1.3	連絡先	3
2	システムへのログイン・ログアウト	4
2.1	ユーザーアカウントの発行.....	4
2.2	ログイン	7
2.3	ログアウト.....	9
2.4	ログインパスワードを忘れた時	10
3	画面構成	13
3.1	画面構成 (REDCap システム全体)	13
3.2	画面構成 (研究用ページ)	14
4	データ入力.....	15
4.1	新規症例の追加 (レコード登録/編集)	15
4.2	既存データ呼出し (レコード登録/編集).....	19
4.3	既存データ呼出し (レコード一覧).....	20
4.4	Status icon	20
4.5	入力項目の種類.....	21
4.6	入力データに対するチェック	23
4.7	クエリ (問題解決ワークフロー) の確認・回答	26
4.7.1	入力画面からの確認・回答	26
4.7.2	クオリティチェック画面からの確認・回答	27
4.8	電子署名	28
4.9	ロック解除.....	29
5	データ出力機能.....	30
5.1	PDF 形式.....	30
5.2	CSV 形式	31

1 はじめに

1.1 REDCap とは

REDCap (Research Electronic Data Capture) は、米国 Vanderbilt 大学で開発された臨床研究に特化した Web でのデータ収集システムです。

国立循環器病研究センターは、Vanderbilt 大学と正式にライセンス契約を締結し、システムの使用権が許諾されているため、当施設の研究者が主体となる臨床研究の支援に活用しています。

本書は、REDCap システムご利用の際に必要な情報が記載されていますので、ご利用前に必ずご一読ください。

- 本書では、共通する基本的な操作について説明します。各研究の症例報告書の入力方法については、研究毎の入力の手引き等をご参照ください。
- 本書には実際の操作画面とは異なるサンプル画面を記載しております。あらかじめご了承ください。

1.2 環境設定

本システムは、一般的なブラウザで使用可能ですが、もし不具合等ございましたら研究事務局へお問合せください。

使用するクライアント PC の以下の点を事前にご確認ください。

- ブラウザの Cookie の設定が無効になっている場合は、設定を有効にしてください。
- Internet Explorer10 を使用の場合は、本サイトへの「互換表示」設定を有効にしてください。
設定方法：初心者でもわかる! IE で互換表示 (IE8)

<http://support.microsoft.com/kb/2539126/ja> Microsoft Support より

1.3 連絡先

研究実施に際し疑義事項などありましたら、研究事務局までお問合せ下さい。

2 システムへのログイン・ログアウト

2.1 ユーザーアカウントの発行

- 1) システムご利用前に、参加する研究班の連絡窓口（研究事務局等）へ、システムへのユーザー登録申請を行って下さい。

- **複数人でのアカウントの使い回し・共有は、決してしないでください。**

（システム利用者は、ユーザー毎に申請をしてください。）

- ユーザーID に使用するメールアドレスは、基本的に**所属施設が発行したメールアドレス**を申請してください。フリーメールアドレス（G-mail や Yahoo メール等）、個人所有のメールアドレスは原則ご利用いただけません。

所属施設からメールアドレスを発行されていない等々やむを得ない理由がある場合のみ、ユーザー申請書（備考欄）にその旨記載いただき申請頂くことが可能です。

- 2) ユーザー登録完了後、各ユーザー宛にユーザーアカウントの作成およびパスワード設定用 URL が e-mail で通知されます。メール内の「新しく REDCap のパスワードを設定」をクリックしてください。

Subject: REDCap アカウントが作成されました

REDCap をご利用いただきありがとうございます。

このメッセージは REDCap によって自動的に作成されました。

あなたの REDCap アカウントが、次のユーザー名で作成されました --> "XXXXXXXX@ncvc.go.jp"。
新しくパスワードを設定してログインするために、以下のリンクをクリックしてください。

After logging in, please make sure to set up your password recovery question, which will allow you to use the 'Forgot your password?' link on the login page without the need to contact the REDCap Administrator. You will be prompted to set your recovery question on the My Projects page, but you can also set it on your 'My Profile' page under 'Login-related options'.

[新しくREDCapのパスワードを設定](#)

- 3) 「パスワードの設定」の画面が表示されますので、ご自身のパスワードを2回入力し、送信ボタンをクリックしてください。

REDCap®
パスワードの設定

パスワードがまだ設定されていないか、リセットされたので、ここでパスワードを設定してください。

ご希望のパスワードを入力して[送信]ボタンをクリックしてください。

パスワードが設定されたら、自分のユーザー名とパスワードを使用して、このREDCap にログインできるようになります。次回からの利用のために新しいパスワードを書き留めるか、覚えていてください。

入力した新しいパスワードは、長さが少なくとも9文字である必要があり、少なくとも一つの小文字、一つの大文字、および一つの数字を含んでいる必要があります。

ユーザー名: user@ncvc.go.jp
パスワード:
パスワードを再入力してください:
送信

■ パスワードの設定について

文字数が 9文字以上、英大文字、英小文字、数字を複合して設定して下さい。

- 4) 初回ログイン時のみ、「パスワードリカバリの質問を設定」する画面に移行します。この設定は、パスワードを忘れた際に、Web上でパスワードを再設定するために必要となる情報ですので、必ず設定を行い、設定した内容（質問/回答）はご自身で管理して下さい。
- ご自身で設定された内容をシステム上で確認することは出来ませんので、内容をお忘れになった場合は研究事務局にお問い合わせください。なお、この場合、手動でのパスワードリセットとなるため、作業にお時間頂く事がございます。あらかじめご了承ください。

パスワードリカバリの質問を設定

(もし将来、忘れてしまったときにREDCapのパスワードを回復するために、あなたは下記のお好みのセキュリティの質問を選択し、そのための答えを用意しておく必要があります。この情報を記入したら、あなたがパスワードを忘れてしまった場合、REDCapのログイン画面のリンク、「パスワードを忘れたときはここをクリック」をクリックすることができます。そこで(以下で選択した)セキュリティ保護用の質問に正しい答えを提供するように求められます。そうするとあなたのREDCapのアカウントに関連付けられているメールアドレスに新しい仮パスワードが送信されます。以下のパスワードリカバリの質問を設定すると、あなたがパスワードを忘れてしまった場合でも、REDCapの管理者に手動でリセット作業させる必要がありません。

NOTICE: It is highly recommended that you set your password recovery question accidentally locked out of your REDCap account.

質問を選択します。 - セキュリティの質問を選択 -
質問に対する回答。 (大文字小文字の区別なし)
メールアドレスを確認してください。
(パスワードを回復しようとすると、新しいパスワードがこのメールアドレスに送信されます。)

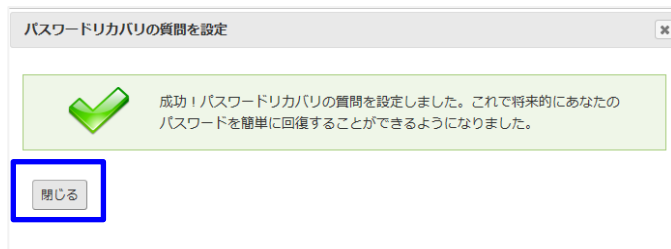
保存 今は決めません。2日後にもう一度聞いてください。

質問を選択

回答を入力
(大文字小文字の区別なし)

パスワード忘れの連絡先のメールアドレス 初期表示されているが、別のアドレスに変更 (手入力) することも可能

5) 必要事項を選択/入力し、「保存」をクリックすると登録が完了します。



- REDCap からの自動送信メールが、まれに**迷惑メール**に振り分けられる場合がございますのでご注意ください。
- 今後、別の研究で、国立循環器病研究センターの REDCap システムを利用される場合は、同じユーザー名、パスワードを使用してアクセスする事になりますので、**ユーザー名、パスワード、およびパスワードリカバリの質問、回答**は大切に保管してください。

2.2 ログイン

1) 接続先：https://redcap02.ncvc.jp/redcap/

《ユーザー名》にログイン用のユーザーアカウントを、《パスワード》に自身で設定したパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

REDCap®

ログイン

国立研究開発法人
国立循環器病研究センター

国立循環器病研究センターでのREDCapをご利用いただくための共通のログインページになります。
ID、パスワードを未申請の方は、該当研究の事務局までご連絡ください。

あなたのユーザー名とパスワードでログインしてください。ログインにトラブルがある場合はご連絡下さい。REDCap運用管理者。

ユーザー名:

パスワード:

ログイン

パスワードを忘れたときはここをクリック

- パスワードを **5回以上**間違えると、**一定時間（30分程度）**ログインが出来なくなります。

2) ログイン直後、2段階認証の確認が求められます。（定期的に実施）

上段「このコンピュータ上で2段階認証の確認表示を省略します90日」のチェックボックスにをし、《Eメール》を選択すると、確認コードの入力画面が表示され、同時にユーザー申請時に登録したメールアドレスに6桁の確認コードが送信されます。コードを入力し《送信》ボタンをクリックしてください。

REDCapログインのための2段階の確認

REDCapの2段階認証プロセスを完了するために、以下のオプションを選択してください。この2段階認証を完了するまで、REDCapにアクセスできません。

このコンピュータ上で2段階認証の確認表示を省略します90日

Google認証: あなたのREDCapのユーザーアカウントに関連付けられている確認コードを得るためにあなたのモバイルデバイス上のGoogle認証システムアプリを開きます。

Eメール: : 以下に記載されているメールアドレスに確認コードを含む電子メールを送信します。
Send to k-ohshima@ncvc.go.jp

キャンセル

あなたの確認コードを入力してください

あなたから得た確認コードを入力してください

✕

✉ Eメール: ✓ 送信されました!

送信 キャンセル

差出人: "redcap-un@mincvc.go.jp" <redcap-un@mincvc.go.jp> 宛先: xxxxxxxxxxxx@xxx.co.jp
件名: REDCap2段階のログイン 日時: Wed, 30 Sep 2020 14:15:16 +0900

あなたのREDCapリターンコードです 570298
(このコードは 2 分で失効します。)

あなたの確認コードを入力してください

あなたから得た確認コードを入力してください

✕

✉ Eメール:

送信 ✓ SUCCESS!

《プロジェクト一覧》画面が表示されます。データ入力対象のプロジェクト名をクリックすると、《プロジェクト》ページが表示されます。

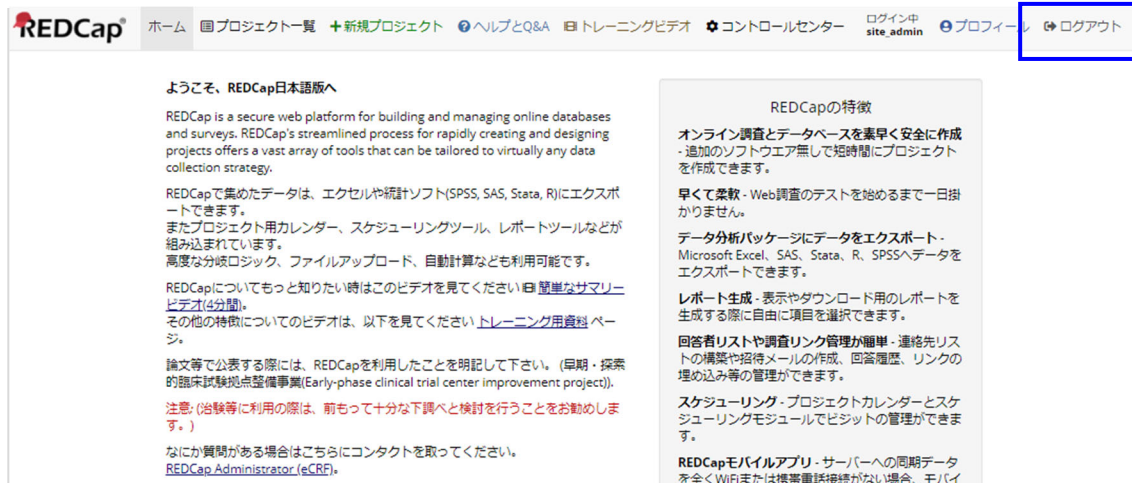
《ホーム》が表示された場合は、[プロジェクト一覧]タブをクリックしてください。

- 確認コードのメールは「迷惑メール」フォルダに格納される場合がありますのでご注意ください。

2.3 ログアウト

1) システム全体のページ

画面右上の[ログアウト]ボタンをクリックします。
[×]ボタンでブラウザを終了して下さい。




2) 研究用ページ

画面左上の[ログアウト]ボタンをクリックします。
[×]ボタンでブラウザを終了して下さい。



2.4 ログインパスワードを忘れた時

- 1) ログイン画面の [パスワードを忘れたときはここをクリック] をクリックします。



REDCap®

ログイン

国立研究開発法人
国立循環器病研究センター

国立循環器病研究センターでのREDCapをご利用いただくための共通のログインページになります。
ID、パスワードを未申請の方は、該当研究の事務局までご連絡ください。

あなたのユーザー名とパスワードでログインしてください。ログインにトラブルがある場合はご連絡下さい。 [REDCap通用管理者](#)。


ユーザー名:

パスワード:

ログイン

[パスワードを忘れたときはここをクリック](#)

- 2) «ユーザー名» に、パスワードをリセットしたいユーザー名を入力します。
[ユーザー名を確認] ボタンをクリックします。



パスワードを回復するために

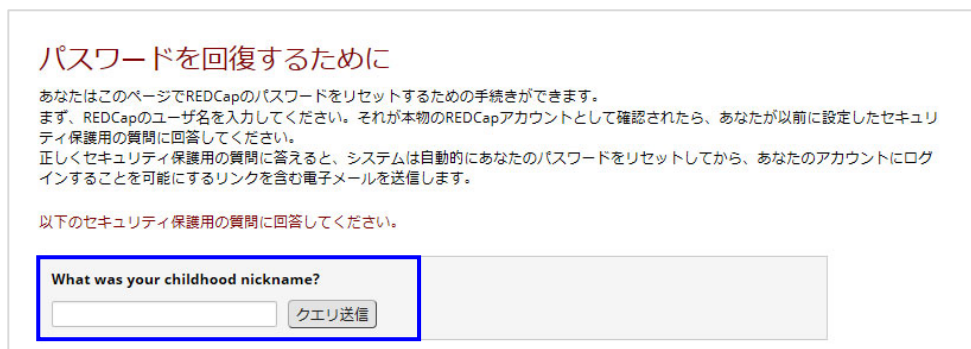
あなたはこのページでREDCapのパスワードをリセットするための手続きができます。
まず、REDCapのユーザー名を入力してください。それが本物のREDCapアカウントとして確認されたら、あなたが以前に設定したセキュリティ保護用の質問に回答してください。
正しくセキュリティ保護用の質問に答えると、システムは自動的にあなたのパスワードをリセットしてから、あなたのアカウントにログインすることを可能にするリンクを含む電子メールを送信します。

ユーザー名:

ユーザー名を確認

REDCap 10.0.5 - © 2020 Vanderbilt University

- 3) システム使用時にご自身で選択した質問が表示されているので、質問の答えを入力し
[クエリ送信] ボタンをクリックします。



パスワードを回復するために

あなたはこのページでREDCapのパスワードをリセットするための手続きができます。
まず、REDCapのユーザー名を入力してください。それが本物のREDCapアカウントとして確認されたら、あなたが以前に設定したセキュリティ保護用の質問に回答してください。
正しくセキュリティ保護用の質問に答えると、システムは自動的にあなたのパスワードをリセットしてから、あなたのアカウントにログインすることを可能にするリンクを含む電子メールを送信します。

以下のセキュリティ保護用の質問に回答してください。

What was your childhood nickname?

クエリ送信

- 質問の回答を **5回**間違えると、**30分間**は「パスワードを回復するために」のページにアクセスが出来なくなります。
- 答えが分からずパスワードを再設定できない場合は、再設定したいユーザー名を、研究事務局までご連絡下さい。

※初回ログイン時に入力した質問、及び回答は、パスワードの初期化を行ってもリセットできません。

質問の回答を忘れてしまった場合 or パスワードの初期化の際は、研究事務局までご連絡下さい。なお、この場合、手動でのパスワードリセットとなるため、作業にお時間頂く事がございます。あらかじめご了承ください。

- 4) 認証に成功すると、ユーザー申請時に登録したメールアドレス宛に、REDCap パスワードリセットのメールが配信されますので、メール内の[新しく REDCap のパスワードを設定]の URL をクリックしてください。

Subject: REDCap パスワードリセット

REDCap をご利用いただきありがとうございます。

このメッセージは REDCapによって自動的に作成されました。

あなたの次のユーザー名のパスワードは、リセットされました -> " XXXXXXX@ncvc.go.jp "。
新しくパスワードを設定してログインするために、以下のリンクをクリックしてください。

After logging in, please make sure to set up your password recovery question, which will allow you to use the 'Forgot your password?' link on the login page without the need to contact the REDCap Administrator. You will be prompted to set your recovery question on the My Projects page, but you can also set it on your 'My Profile' page under 'Login-related options'.

[新しくREDCapのパスワードを設定](#)

ご質問は、次の連絡先をお願いします。-> REDCap Administrator (eCRF) の redcap-un@ml.ncvc.go.jp。

- 5) ≪パスワード≫ ≪パスワードを再入力してください≫に、新たに設定したいパスワードを入力し、[送信]ボタンをクリックします。
二段階認証の確認を行い[送信]ボタンをクリックします。


パスワードの設定

パスワードがまだ設定されていないか、リセットされたので、ここでパスワードを設定してください。
ご希望のパスワードを入力して[送信]ボタンをクリックしてください。

パスワードが設定されたら、自分のユーザー名とパスワードを使用して、このREDCap にログインできるようになります。次回からの利用のために新しいパスワードを書き留めるか、覚えていてください。

入力した新しいパスワードは、長さが少なくとも9文字である必要があり、少なくとも一つの小文字、一つの大文字、および一つの数字を含んでいる必要があります。

ユーザー名:	user@ncvc.go.jp
パスワード:	<input type="password"/>
パスワードを再入力してください:	<input type="password"/>

6) ≪ホーム≫画面が表示されます。

REDCap® ホーム 画プロジェクト一覧 +新規プロジェクト ヘルプとQ&A トレーニングビデオ ☆コントロールセンター ログイン中 user@ncvc.go.jp プロフィール ログアウト

--- 2021/01/22 Versionアップいたしました。 ---

ようこそ、REDCap日本語版へ

REDCap is a secure web platform for building and managing online databases and surveys. REDCap's streamlined process for rapidly creating and designing projects offers a vast array of tools that can be tailored to virtually any data collection strategy.

REDCapで集めたデータは、エクセルや統計ソフト(SPSS, SAS, Stata, R)にエクスポートできます。
またプロジェクト用カレンダー、スケジューリングツール、レポートツールなどが組み込まれています。
高度な分岐ロジック、ファイルアップロード、自動計算なども利用可能です。

REDCapについてもっと知りたい時はこのビデオを見てください [旧 簡単なサマリービデオ\(4分間\)](#)。
その他の特徴についてのビデオは、以下を見てください [トレーニング用資料](#) ページ。

論文等で公表する際には、REDCapを利用したことを明記して下さい。(早期・探索的臨床試験拠点整備事業(Early-phase clinical trial center improvement project)).

注意:(治療等に利用の際は、前もって十分な下調べと検討を行うことをお勧めします。)

なにか質問がある場合はこちらにコンタクトを取ってください。
[REDCap Administrator \(eCRF\)](#)。

REDCapの特徴

オンライン調査とデータベースを素早く安全に作成
-追加のソフトウェア無しで短時間にプロジェクトを作成できます。

早くて柔軟 - Web調査のテストを始めるまで一日掛かりません。

データ分析パッケージにデータをエクスポート
- Microsoft Excel, SAS, Stata, R, SPSSへデータをエクスポートできます。

レポート生成 - 表示やダウンロード用のレポートを生成する際に自由に項目を選択できます。

回答者リストや調査リンク管理が簡単 - 連絡先リストの構築や招待メールの作成、回答履歴、リンクの埋め込み等の管理ができます。

スケジューリング - プロジェクトカレンダーとスケジューリングモジュールでビシットの管理ができます。

安全にファイルを他の人に送信 - ファイル配布を使用して機密データやeメールに添付出来ないほどの

3 画面構成

3.1 画面構成 (REDCap システム全体)

《プロジェクトホーム》タブを選択すると、下記画面が表示されます。

入力したい研究名をクリックすると、研究用ページが表示されます。

(『3.2 画面構成 (研究用ページ)』参照)

以下は、あなたが現在利用しているREDCapプロジェクトです。プロジェクトタイトルをクリックしてプロジェクトを開きます。新しく作成されたプロジェクトは、**構築中**で始まります。構築中のマークが入ります。

- 実際のデータ入力が可能になったら to designate the project as officially collecting data. When you are finished collecting data or if you wish to stop collection, the project may be set to **Analysis/Cleanup status停止中** に移行できます。(もし、再びデータを集める必要があれば、いつでも稼働中に戻すことができます。)

また、プロジェクトのタイプの欄には、そのプロジェクトが **単発な調査** なのか、**長期にわたる調査** なのかを表示しています。

プロジェクトタイトル	レコード	入力項目	フォーム	タイプ	状態
INDICATE study -2	0	2	1 フォーム	■	🔧
yokote01	1	3	1 フォーム	☰	🔧
ACQUAINT-trial	0	224	28 フォーム	☰	🔧
Sample	0	2	1 フォーム	☰	🔧
INDICATE studt-2 Demo	1	62	3 フォーム	☰	🔧

アカウントを所有している
研究名が表示されます。

3.2 画面構成 (研究用ページ)

《プロジェクトホーム》タブを選択すると、下記画面が表示されます。



【データ入力&一覧】

レコード一覧	既存症例全ての入力状態の確認ができます
レコード登録/編集	症例の新規追加、既存症例の呼び出しを行います

【アプリケーション】

カレンダー	プロジェクト内の予定とイベントの管理、確認ができます
レコード一覧、データ出力、他	新規レポート作成、データのエクスポートが可能です
データインポート	既存症例に対し、外部データをインポートできます
データ比較ツール	入力データの比較が可能です
監査証跡(ログ確認)	監査証跡(データに対する、入力、変更などの履歴)が閲覧可能です
フィールドコメントログ (※有効にした場合)	入力値に対してのコメントを作成することができます。被験者の個人情報等の入力は控えて下さい
各種ファイル管理	データダウンロード履歴の閲覧、共有ファイルのアップロードが可能です
ユーザ管理	研究にアカウントを持つユーザーの管理が可能です
Customize & Manage Locking /E-signatures	電子署名やレコードのロックが可能な症例の一覧が表示されます
クオリティチェック	欠測など、入力値に対してのチェックを実施することが可能です。クエリを発行する場合があります

※ 利用者の権限や試験の設定によっては、表示されないメニューがあります。

4 データ入力

4.1 新規症例の追加 (レコード登録/編集)

1) 画面左側のメニューより[レコード登録/編集]をクリックすると、次の画面が表示されます。



ただし、試験デザインや入力方法によって表示されるスタイルが異なります。代表的なスタイルは以下の通りです。

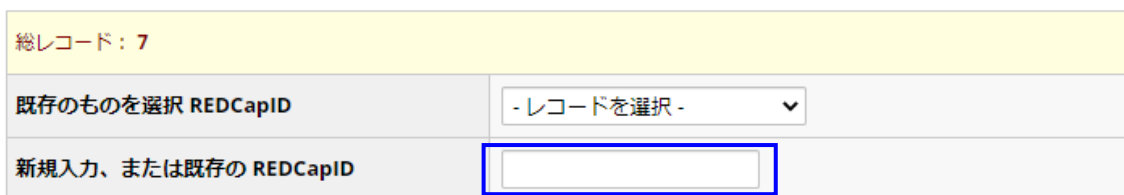
a) 単群 / REDCapID (症例番号) 自動発番の場合

[新しいレコードを追加]ボタンをクリックすると、「レコード表示」画面が表示されます。【症例番号】はシステムが自動で採番します。



b) 単群 / REDCapID (症例番号) 手入力の場合

[新規入力、または既存の症例番号] に新規登録する症例番号を入力し[enter]キーを押すと、「レコード表示」画面が表示されます。



- c) 2 群以上 / REDCapID (症例番号) 自動発番の場合
 対象の Arm を選択し、[新しいレコードを追加 (上で選択したアームに追加されます)] ボタンを
 クリックします。《レコード表示》画面が表示されます。
 症例番号は、システムが自動で採番します。

総レコード: 7

既存のものを選択 REDCapID

アーム 1: Arm 1

-レコードを選択-

+ 新しいレコードを追加 (上で選択したアームに追加されます)

- d) 2 群以上 / REDCapID (症例番号) 手入力の場合
 [新規入力、または既存の症例番号]に、対象の Arm を選択し、新規登録する症例番号を入力し
 [enter]キーを押すと、《レコード表示》画面が表示されます。

総レコード: 7

既存のものを選択 REDCapID

アーム 1: Arm 1

-レコードを選択-

新規入力、または既存の REDCapID

アーム 1: Arm 1

[Empty input field]

- 通常の設定では、一度入力した REDCapID (症例番号) を変更することはできません。
 新規症例登録で REDCapID (症例番号) を手入力する際、入力間違いや重複にご注意下
 さい。

なお、REDCapID (症例番号) が重複している場合、下記メッセージが表示されます。

レコード表示画面

● レコード "1" は新しい REDCapID。レコードを作成してデータを入力するには、下のグレーのステータスアイコンをクリックしま
 ず。

グリッドには、表示しているレコードに入力されたデータの形
 式ごとにフォームの入力状況が表示されます。色の付いたス
 テータスアイコンをクリックして、そのフォーム/イベントにア
 クセスしてください。もし必要であれば、次のページからイ
 ベントを修正できます。-> イベント(visit)を定義 ページ。

ステータスアイコンの凡例:

- 不完全
- 不完全 (データ未入力) ?
- 未検証
- 多くの状況 (すべて同じ)
- 完了
- 多くの状況 (混合)

注意: 次の REDCapID "1" は、別のアームにもデータがあります。

新規 REDCapID 1
 アーム 2: Arm 2

フォーム	Baseline	1W
Registration	○	
Vital Sign	○	○

- REDCapID (症例番号) を手入力する場合は、以下のルールに従ってご入力ください。
- ① 日本語文字列は推奨しない
 (半角英字、半角数字、ハイフンやアンダーバーなどの記号は OK)
 - ② XX-XX や XXXX-XX など、2 桁や 4 桁の数字をハイフンで結合した番号を入力しない
 ※場合によっては、入力データを CSV 形式で Export し、ファイルを Excel で開く
 と、自動的に日付として表示されることがあります。

REDCap 入力要領 - redcap02-

2) データの入力を行う。

《フォーム》の[Status icon]「○」をクリックすると、対象の入力フォームが表示され、データを入力することができます。

表の上部に新規登録した REDCapID（症例番号）が表示されますので、各施設で管理して下さい。

The screenshot shows a table of forms with columns: フォーム, Baseline, Day14, AE, DS. The 'Echo' row has a status icon (a circle with a plus sign) in the 'AE' column. A callout points to this icon, labeled 'Status icon'. Another callout points to the '症例登録番号 1' (Case registration number 1) in the 'Echo' row, labeled '新規登録した症例番号' (Newly registered case number). Below the table, the 'Echo' form is shown in detail, including fields for 'イベント名: Day14', '症例登録番号 1', '胎児エコー検査', '検査の有無' (checked), 'Form Status', 'Complete?' (Incomplete), and 'Lock this instrument?' (locked).

3) 繰り返しフォームの新規追加は、ステータスアイコンの右の「+」をクリックするか、画面下段の繰り返しフォームの[新規追加]ボタンをクリックする。

フォーム	Baseline	Day14	AE	DS
Demography	○			
Medical History	○			
Echo	○	○		
Adverse Event			● +	
Discontinuation				○
Event	○			
イベントのすべてのデータを削除する: X				

繰り返しフォーム

Adverse Event

AE
(1)

1

+ 新規追加

- 4) Form Status (Incomplete、Unverify、Complete) を選択し、保存します。
 (各保存ボタンの種類についての詳細は下記参照)

フォームを保存して終了	データを保存し、「レコード表示画面」へ戻ります
セーブ & ステイ	データを保存し、現在のフォームに留まります
保存して、次のフォームに移動	データを保存し、同一 VISIT 内の次のフォーム画面へ遷移します
保存して、新規事例を追加します ※繰り返しフォームの場合	データを保存し、新規の繰り返しフォームの入力画面を表示します。
レコードを保存して終了	データを保存し、《レコード登録/編集》画面へ遷移します
保存して、次のレコードに移動	データを保存し、次の症例（登録番号）の「レコード表示画面」へ遷移します

- 5) 不要な繰り返しフォームが発生した場合の対応

繰り返しフォームの誤登録やデータの誤入力等によって不要な繰り返しフォームが発生した場合、その繰り返しフォームには一切のデータを入力せず、Form Status を「Complete」にして保存してください。

※システム管理者以外の権限では不要な繰り返しフォームを REDCap 上から削除することはできません。

4.2 既存データ呼出し (レコード登録/編集)

既存データの呼出し方法は、2種類あります。

- ✓ レコード登録/編集
- ✓ レコード一覧

ここでは、レコード登録/編集 の方法を説明します。

レコード一覧については、新規登録時の操作と同様のため、以下をご参照下さい。

参照：『4.3 既存データ呼出し (レコード一覧)』

1) 登録済症例を個別で呼出す場合 (既存のものを選択 REDCapID)

画面左側のメニューより[レコード登録/編集]をクリックすると、《レコード登録/編集》画面が表示されます。

画面中央の「レコードを選択」のプルダウンから症例を選択してください。



2) 登録済症例を個別で呼出す場合 (新規入力、または既存の REDCapID)

画面中央の「新規入力、または既存の REDCapID」に呼び出したい REDCapID を入力してください。



※研究の試験デザインや入力方法によって表示されるスタイルが異なります。

4.3 既存データ呼出し (レコード一覧)

登録済の全症例の入力状況を確認し呼出す場合

画面左側のメニューより[レコード一覧]をクリックすると、《レコード一覧 (全レコード)》画面が表示されます。

データ入力する症例番号の入力フォームの[Status icon 「○」]をクリックすると、対象の入力フォームが表示されます。



4.4 Status icon

Form Status の Status icon の種類は以下の通りです。

アイコン	ステータス	入力状況
		データ未入力
	Incomplete	入力中
	Unverified	未確認
	Complete	入力完了 (この状態で、電子署名が可能になります。)

4.5 入力項目の種類

1) 数値フィールド

体重 (kg)	<input type="text" value="70.5"/>	小数点以下も入力可
心拍数	<input type="text" value="100"/>	整数のみ

2) 日付フィールド：

手入力、横の[カレンダー]ボタンから選択、或いは[今日]ボタンクリックで本日日付を自動で入力することが可能です。手入力の場合、(-)を入力しなくても自動で日付を判断します。その場合は、フォーカスが外れた時の日付が正しいか確認して下さい。

例) 2013/4/2 → 2013-04-02, 201343 → 2013-04-03, 等

検査日	<input type="text"/>	今日 Y-M-D
-----	----------------------	----------

3) テキストボックス（単一行）

Note	<input type="text"/>
------	----------------------

4) ノートボックス（複数行）：

フィールド内で改行することも可能です。

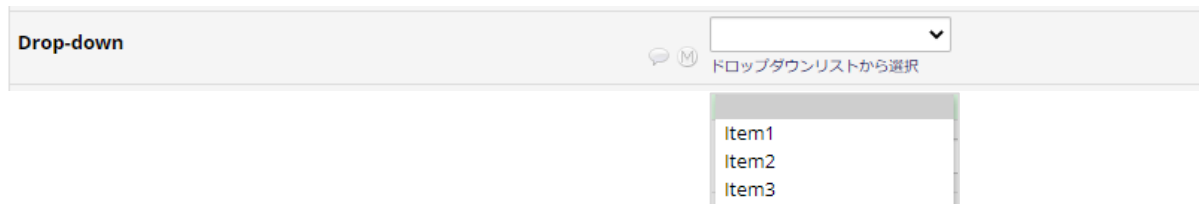
Note	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 50px;"></div>	拡張する
------	---	------

5) 自動計算フィールド：

関連する項目を元に自動計算が設定されており、画面上で値の変更はできません。フィールド横の"View equation"をクリックすると、計算式の内容が表示されます。また、値は赤字で表示されますが、自動計算の意味であり、エラーではありません。

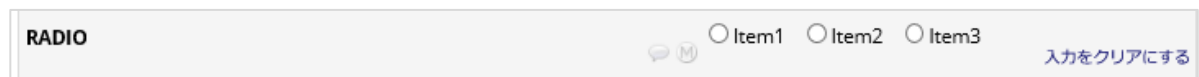
height	<input type="text" value="180"/>
weight	<input type="text" value="70"/>
BMI	<input type="text" value="21.60493827160494"/> 数式をみる

6) プルダウン



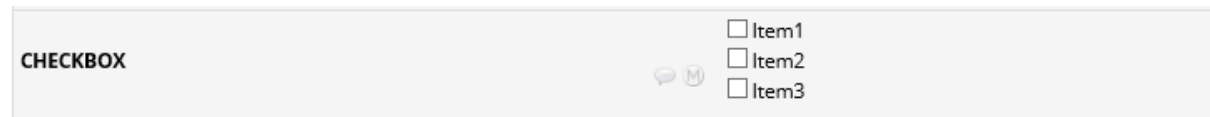
7) ラジオボタン :

択一の選択肢です。表示されている選択肢から、1つだけ選択することが可能です。
全てクリア（選択なし）にしたい場合は、項目の右横に表示されている”入力をクリアにする”リンクをクリックして下さい。



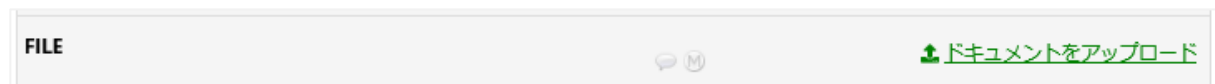
8) チェックボックス :

表示されている選択肢を複数選択することが可能です。

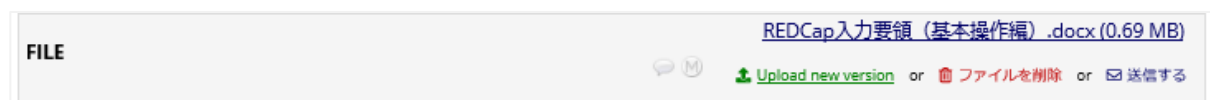


9) ファイルアップロード :

ファイルをアップロードすることが可能です。
項目右に表示されている”ドキュメントをアップロード”リンクをクリックすることで、ファイルをアップロードできます。



アップロードされたファイルを削除したい場合は、”ファイルを削除”リンクをクリックして削除して下さい。



4.6 入力データに対するチェック

データ入力時、あるいは保存時に入力データに対する整合性チェックが実施されます。また、入力データに対する一括チェックも実施することが可能です。これらのチェックを実施することで、入力データの品質向上に寄与します。

1) データ型の整合性チェック

入力データが、設定されているデータ型と異なる場合、入力時点で警告が表示されます。

入力値が正しいデータ型に修正されない限りメッセージは消えず、他の項目にデータ入力することはできません。“閉じる”をクリックし、正しい値を入力して下さい。

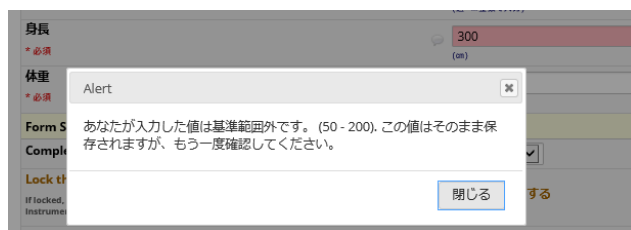
例) ”日付”の入力項目に”文字”が入力された場合



2) 数値の範囲チェック

入力時点で警告が表示されますので、該当データについてご確認ください。

入力データが正しい場合、この警告が表示されていてもデータの保存は可能です。

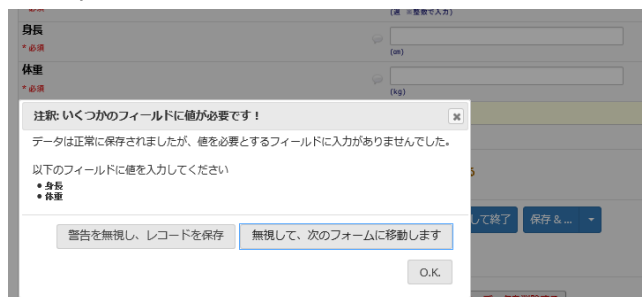


3) 必須入力項目の未入力チェック

項目の下に“*必須”と表示されている項目は、データ入力が必要です。保存時に警告が表示されますので、該当データについてご確認ください。

なお、未入力チェックの警告が表示された時点で入力データは既に保存されているため、例えば検査が実施できず欠測となってしまった場合は、警告を無視し入力画面のステータスを

[Complete]することは可能です



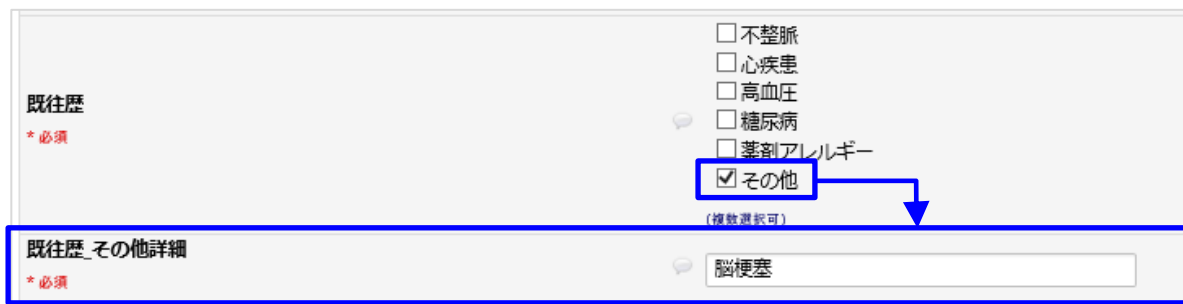
未入力チェックの警告に表示されるボタンの種類は以下の通りです。

O.K.	警告内容を修正する為に、現在入力中の画面が表示されます
警告を無視し、レコードを保存	警告を無視し、該当項目は未入力のまま、《レコード表示画面》に遷移します
無視して、次のフォームに移動します	警告は無視し、該当項目は未入力のまま、次の入力画面へ遷移します

4) ブランチング（分岐）項目の整合性チェック

ブランチングとは、上位の項目で入力されたデータによって、表示・非表示が制御されることです。

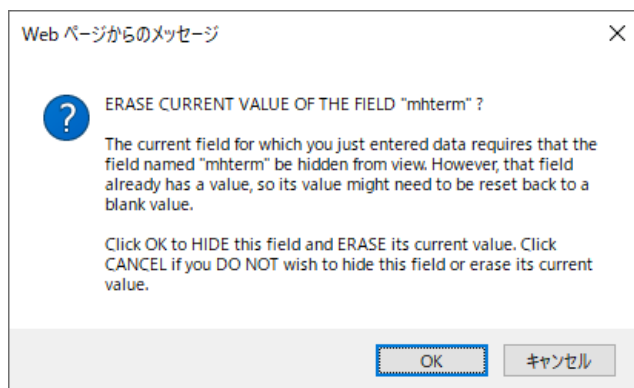
例) 選択肢で“その他”を選んだ場合に、[その他詳細]の項目が表示される



上位項目の入力データにより表示されたブランチングの入力項目（下位項目）にデータを入力した後、上位項目の入力データを修正すると、修正後、本来非表示になるべき下位項目にデータが入力されていないことを確認するチェックが実装されます。

データが入力されている場合には、以下のような警告メッセージが表示されますので、この場合、**必ず「OK」ボタンをクリック**してください。そうすると下位項目の値が自動的に削除され、非表示となります。

（例：下位項目の[その他詳細]欄にデータ入力された状態で、上位項目の選択肢[その他]のチェックを削除した場合など）



- 「キャンセル」 ボタンをクリックすると、本来非表示となりデータが入力されないはずの項目にデータが存在することとなります。
- 既に入力されている下位項目の値をすべて手動で削除してから、上位項目の入力データを修正していただくと、上記警告メッセージは表示されません。

4.7 クエリ（問題解決ワークフロー）の確認・回答

※「問題解決ワークフロー」機能を設定した場合のみご活用ください。

データマネジメント担当者から、入力データに関して問合せ(クエリ)を行う場合があります。クエリ（問題解決ワークフロー）を確認・回答するには以下2つの方法があります。

- ✓ 入力画面からの回答
- ✓ アプリケーションの「クエリ」から回答

4.7.1 入力画面からの確認・回答

1) クエリが発行されている項目には、黄色の吹き出しマークに赤色の「！」がついています📢。

The screenshot shows a form section titled '被験者情報' (Participant Information). Under '同意取得日' (Date of Consent), there is a text input field with a yellow warning icon and a red exclamation mark. To the right of the field is a calendar icon and the text '今日 Y-M-D'. Below the field are radio buttons for '性別' (Gender): '男' (Male) and '女' (Female). A '変数をリセットする' (Reset variables) button is located at the bottom right.

2) 吹き出しをクリックすると、クエリ確認画面（問題解決ワークフロー）が表示されますので、「開かれたクエリ」の下の問合せ内容をご確認ください。

ご確認の結果、対応内容を下段の「定型文で応答」の選択肢およびコメント欄にご入力いただき（必須）、[クエリに応答]ボタンをクリックしてください。これによりクエリへの回答が完了します。

日時	ユーザー	コメントと詳細
2021/04/13 9:41am	user@ncvc.go.jp	アクション: 開かれたクエリ コメントする: "ご確認ください。"
2021/04/13 9:41am	user@ncvc.go.jp	● 定型文で応答: - 応答を選択してください - アップロード <input type="checkbox"/> 修正済 - データ欠落 <input type="checkbox"/> アップ <input type="checkbox"/> ロード 修正済 - タイプミス - OR - 修正済 - 間違った元データを使った <input type="radio"/> クエリを閉じま 完了 - 確認(エラーなし) その他 <input type="checkbox"/> コメントする: <input type="text"/>

【対応の選択肢】

- ✓ 修正済 - データ欠落
- ✓ 修正済 - タイプミス
- ✓ 修正済 - 間違った元データを使った
- ✓ 完了 - 確認 (エラーなし)
- ✓ その他

3) クエリへの回答内容に基づき、必要に応じてデータ修正をしてください。

4.7.2 クオリティチェック画面からの確認・回答

(問い合わせ内容一覧から確認する場合)

- 1) 画面左側のアプリケーション内[クエリ]をクリックすると、未解決の問合せ（クエリ）の一覧が表示されます。

「クエリを見るにはボタンをクリック」欄で、黄色の吹き出しマークに赤色の「！」が表示されているものが、回答が必要なクエリです。

[🗨️ コメント]ボタンをクリックすると、クエリ確認画面（問題解決ワークフロー）が表示されますので、「4.7.1 入力フォームから[クエリ]を確認・回答する方法」と同様の手順で、クエリにご回答ください。

The screenshot displays the 'クオリティチェック' (Quality Check) dashboard. On the left, the 'クエリ' (Queries) menu item is highlighted. The main content area shows a table of queries. A filter is applied to show 'オープンしている/未解決の問題 (1)'. A specific query is highlighted with a blue box, and a '1 コメント' (1 Comment) button is also highlighted. A dropdown menu is open, showing options like 'データ未検証 (0)', 'オープンしている/未解決の問題 (1)', and '未応答を開く (0)'.

- 2) クエリのアイコンの種類

アイコン	クエリ（問題解決ワークフロー）のステータス
	未解決
	回答済み
	クローズ

4.8 電子署名

データ入力完了した CRF に対し、電子署名を実施します。電子署名は、研究責任医師の権限を持つ利用者のみ操作可能です。

※ 電子署名担当医師は、研究計画書に記載された各施設の「研究責任医師」にお願いしておりますが、やむを得ない理由がある場合は、研究責任医師が指名した医師 1 名を電子署名担当医師（代行）として申請することが可能です。

- 1) 入力画面を開き、①入力データに問題がないこと、②データの状態が「Complete」となっていること、③「ロックする」にチェックがされていること、の 3 点を確認のうえ、④「電子署名」にチェックし、⑤データを保存します。

- 2) 電子署名の入力ダイアログが表示されますので、《ユーザー名》、《パスワード》を入力し、[Save]ボタンをクリックします。

4.9 ロック解除

ロック（および電子署名）したデータを修正する場合、ロック解除が必要です。
(ロック解除することで電子署名も自動的に解除されます。)

【ロック解除の手順】

- ① [フォームのロックを解除]をクリック。
- ② 「UNLOCK FORM?」のメッセージが表示されるので、[Unlock]をクリック。
- ③ 「UNLOCK SUCCESSFUL!」のメッセージが表示されるので、[閉じる]をクリック。

The image illustrates the three-step process for unlocking a form in REDCap. It shows the 'Form Status' interface where the 'Unlock' button is highlighted, followed by a confirmation dialog 'UNLOCK FORM?' where the 'Unlock' button is highlighted, and finally a success message 'UNLOCK SUCCESSFUL!' where the '閉じる' (Close) button is highlighted.

5 データ出力機能

5.1 PDF 形式

「PDF でフォームをダウンロード(複数可)」のリストより、出力する対象の PDF の種類を選択します。



【出力される PDF の種類】

- ✓ このデータ入力フォームのみ (空欄)
表示中の入力画面での、データ未入力の状態の PDF
- ✓ このデータ入力フォームのみ (含む: 保存されたレコードのデータ)
表示中の入力画面での、データ入力の有無に関らず全項目を含む PDF
- ✓ このデータ入力フォームのみ (含む: 保存されたレコードのデータ) (compact)
表示中の入力画面での、データ入力された項目のみの PDF
- ✓ このレコードの入力フォーム全部 (空欄)
全入力画面の、データ未入力の状態の PDF
- ✓ このレコードの入力フォーム全部 (含む: 保存されたレコードのデータ)
該当症例における全入力画面の、データ入力の有無に関らず全項目を含む PDF
- ✓ このレコードの入力フォーム全部 (含む: 保存されたレコードのデータ) (compact)
該当症例における全入力画面の、データ入力された項目のみの PDF

■ 入力内容を修正した後、PDF を出力する際の注意点

入力内容を修正した場合、データを保存してから PDF を出力して下さい。
保存していない場合は、データ修正した内容が反映されませんのでご注意ください。

5.2 CSV 形式

1) 画面左側のメニューの[レコード一覧、データ出力、他]をクリックすると、「レコード一覧、データ出力、他」画面が表示されます。

全データ(全レコードとフィールド)の[エクスポート]をクリックします。

※ 出力対象の FORM を絞りこむなど、出力に条件を指定する場合は、選択したフォームとイベントの [カスタム選択を行います] をクリックして下さい。

(次のメッセージの前に、条件指定の画面が表示されます。)

The screenshot shows the REDCap interface for 'National Cerebral and Cardiovascular Center' and 'REDCap Training 02'. The left sidebar has a menu item 'レコード一覧、データ出力、他' highlighted with a blue box. The main content area shows a table with two rows: 'A 全データ (全レコードとフィールド)' and 'B 選択したフォームとイベント (全レコード)'. The 'A' row has a blue box around the 'エクスポート' button. The 'B' row has a blue box around the 'カスタム選択を行います' button.

2) エクスポート形式、個人情報等の持ち出し制限を選択し、問題がなければ[エクスポート]をクリックします。

The screenshot shows the 'エクスポート "全データ (全レコードとフィールド)"' dialog box. It contains several sections: 'Export format selection' with radio buttons for CSV (UTF-8), SPSS, SAS, R, and CDISC; 'Personal information export restrictions' with checkboxes for removing PII, ID fields, free-text, and date/time fields; and 'Advanced data formatting options' with dropdown menus for CSV delimiters and decimal formats. At the bottom right, the 'エクスポート' button is highlighted with a blue box.

- 3) [データのエクスポートをする準備ができました]画面が表示されます。ダウンロードするには、エクスポート形式のアイコン（例：[Excel csv]）をクリックすると、データが出力されます。



6 改訂履歴

作成／改訂日	改訂内容詳細
2021/9/16	新規作成
2022/1/21	4.1 項 5)追加